

「北中道小学校 学校安心ルール」

＜基本的な考え方＞

○学校安心ルールは、子どもが安心してよりよい学校生活を送るための、目安となるルールです

○性格、学力、体力、家庭環境（成育歴）、特性など、子どもは一人ひとり違っており、それがその子どものよさにもなっています。子どもはその日の体調や心の状態によっても、行動や態度は変わってきます。本校では、子どもに愛情をもって寄り添うことを基本として、その子どもの状況に応じた指導を行います

対応	学習の時に	ともだちに対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応
基本的な 約束ごと	誠実にかんばろう ～いっしょに学ぶ人（友だち、教職員の方など）のことを思いやって、自分のできるかぎりのことをしよう～ ・しっかりと勉強する ・友だちと仲よくする ・人や物を大切にする				
1	まじめに学習しない ・授業時間におくれる ・姿勢をくずす ・自分勝手に発言したり立ち歩いたりする など	いやなことをする ・からかう、ひやかす ・物をかってに使う など	ふざける ・指導を素直に聞かない ・からかう、ひやかす など	・物を大切にしない ・自分の机等に落書きする ・学校の物をかってに使う ・お金やものをあげたりもらったりする など	・普段から「やった、できた、わかった」という達成感、「友だちと一緒に、力を合わせた」という所属感を重視して指導をします。 ・さんねんな様子には、その場でしっかり注意します ・子どもの様子によっては、寄り添いながら心情を聞く、よりよい行動に向けて振り返られるようにするなど個別指導をします ・状況によって、別室や複数の教職員による個別指導をします ・個別指導の結果を家庭に連絡し、連携して指導を続けます ・指導後、注意したことが改善されたら、必ずほめます
2	めいわくをかける ・授業に関係のない話をし続ける ・授業中に勝手に教室を出る など	心を傷つける ・無視する ・仲間はすれにする ・悪口、かげ口を言う ・こわがるようなことをしたり言ったりするなど	ふざけすぎる ・指導を無視する ・反抗する・わざとおこらせるようなことをする など	・学校の物をわざとこわす ・夜中にかってに家をでる ・カードやゲーム等でかけごとをする など	
3	学習のじゃまをする ・授業中、わざとじゃまをする ・テストのじゃまやカンニングを繰り返す ・学校をさぼる など	あぶないことをする ・いやがることを無理やりさせる ・暴力をふるう(プロレス技をかけるなども) ・物をかくしたり、すてたりする など	あぶないことをする ・指導に対して激しく反抗する ・こわがるようなことをしたり言ったりする ・押す、突き飛ばす、ぶつかるなどの暴力をふるう など	万引きや飲酒・喫煙など法律に違反するようなこと	